

お客様・パートナー様各位

fusion_place 4.2

リリースのご案内

2015年12月25日
株式会社フュージョンス

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「4.2」をリリース致しましたことをご知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向きリリースです。また、マイナーバージョンアップですので、fusion_place cloud 及び premium のみ提供されます。

2. ご提供方法

弊社 (contact@fusions.co.jp) にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ (<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>) からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。弊社担当にご相談下さい。

3. 主な機能改善点 (4.0.0.4 対比)

(1) フォームの機能改善／高速化

- ① フォームにおいて年単位や半期単位で入力したデータを、入力都度四半期別や月別に按分する機能を追加しました。#96
- ② ブラウザのパラメタ選択画面におけるメンバー一覧に表示されるメンバを、業務責任単位のラベル及び責任範囲指定キーをもとに絞り込めるよう、テキスト式の仕様を拡張しました。#417
- ③ フォームの列・行仕様又はセル仕様で「計算結果を元帳に反映」としている場合における再計算を高速化しました (従来の3倍程度)。#403

- ④ フォームで配賦計算などを行う場合向けに、途中で端数処理を行わずまた桁あふれも起こさずに $a * b / c$ を計算できる関数 @multiply_fraction (a, b, c) をテキスト式に追加しました。#432

(2) ワークフロー関係のオプション機能追加

- ① 提出パッケージの受付時に、シナリオのオープン/クローズ状態を考慮してデータ書き込みを行うこともできるようにしました（現仕様ではクローズされた期間にも書き込まれます）。#384
- ② パッケージを提出し上位部署（業務責任単位）が承認した後は提出部署が取下げできないようにするオプションを設けました。#386
- ③ ワークフローから Excel 起動してデータを修正後反映した時に、パッケージフォームの再計算を自動実行させることが出来るようにしました。#401

(3) ユーザビリティ向上

- ① ディメンション等削除時の確認を厳格化しました。具体的には、削除及び保存時に警告が表示される場合は、警告ダイアログに確認チェックボックスを表示し、チェックしない限り削除・保存できないようにしました。その他、削除/保存以外の重要な処理についても同様に対応しています。#409
- ② ブラウザおよびコンピュータのセル色について、入力可能セルと不可セルの色調の区別がディスプレイ仕様によってやや難しい場合があったので、入力不可セルのグレー色を幾分濃くしました。#416
- ③ 様々な場面で表示されるメンバなどの検索・絞り込み画面で、検索文字列と対象文字列の大文字小文字の違いを無視して合致判定するようにしました。#418
- ④ オブジェクト一覧形式の選択画面で、検索したい文字列を入力する「条件フィールド」が最上行にありますが、それとわかりづらいため、条件フィールドを枠線で強調するとともに、フィールド内に「検索する文字列を入力...」と薄く表示するようにしました。#420
- ⑤ オブジェクト表示方法（ラベル・名称切り替え）での選択結果を保存するようにしました（従来はクライアントプログラムを再起動すると名称表示に戻っていましたが）。#421
- ⑥ データの変更後に他の画面に遷移する際の確認画面が、従来は、変更が失われてよいかという問いに対して「はい/いいえ」の2択を基本とし、例外としてブラウザ、コンピュータでのドリルダウンによる遷移時には、保存して進むかキャンセルするかの2択でしたが、いずれの場面でも「保存する/いいえ/キャンセル」の3択としました。#424 #429

- ⑦ Excel-link で接続設定をクラウドなどにした場合に、その接続先が参照できない状態で Excel ファイルをクローズしようとする と 30 秒ほど待ち状態になる点につき、Excel 起動後に実際には一度もサーバに接続していないケースでは待ち時間がかからないようにしました。#405
- ⑧ Excel-link のテンプレート処理にて、「結果表示領域にオートフィルタを設定する」が ON になっている場合、結果表示領域のフィルタ条件が指定されていれば、データ取得後も同条件でフィルタリングするようにしました。#407
- ⑨ マクロで、Excel-Link リボン・メニューの表示・非表示を切り替えることができるようにしました。#407 (4.1.0.3)提出パッケージの受付時に、シナリオのオープン/クローズ状態を考慮してデータ書き込みを行うこともできるようにしました（現仕様ではクローズされた期間にも書き込まれます）。#384

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された change-log.4.2.0.0.txt をご覧ください。

4. インストール方法

（クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。）

インストール手続き自体は旧バージョン(4.0 以前) と変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル(fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

(ア) データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。

(イ) 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上